

歯科治療は、日々進歩している。



Dr.Musashi 武蔵先生

Dental Office Doctors Session

Vol.
20

見れば取れる、取れば治る。拡大精密治療。

先日、同僚が歯科医院で治療をしていたら、先生が双眼鏡のようなメガネを着けながら診療をしていたのに驚いたそうです。歯医者さんは目が悪くなると大変ですね。

武蔵 いやいや、それは目が悪いわけではなく恐らく拡大鏡です。

柏木 拡大鏡とは、わかりやすく言うと時計職人さんたちが使う虫眼鏡のようなものです。裸眼で作業するより、精密な作業ができるわけです。

山岡 歯科治療で行う拡大治療にはメガネのようなタイプの拡大鏡を用いる治療とマイクロスコープと呼ばれる固定式の大きな機器を用いる方法があります。拡大治療では口の中を大体2倍〜20倍までの範囲で拡大して見る事が出来ます。

武蔵 拡大治療の良いところは病変が大きく見えることで、より精密な治療を行う事が出来ます。また、はっきり見えることで治療時間が短縮され患者さんの負担も軽減されます。そして、今まで推測やカンに頼らなければならなかった細かい治療も、実際に目で確認できるようにになります。

なるほど、拡大鏡についてもう少し詳しく教えてくださいませんか？

柏木 はい。イメージしやすいのは、医療ドラマなんかで外科医たちが筒のついた眼鏡をかけて手術しているシーンがありますよね、その歯科バージョンです。拡大鏡のメリットとしては、持ち運びができるためほとんど全ての治療に応用できる点が挙げられます。

山岡 先ほどもお話した通り、歯科治療は最低でもmm(ミリ)単位の精度が求められます。虫歯や歯周病の場合、2cm程度の小さな歯1本1本の治療になるわけで、『小さな病変がハッキリ見える』という拡大治療の恩恵は大きいものがあるといえます。



Dr.Kashiwagi
柏木先生



Dr.Yamaoka
山岡先生



▲拡大鏡で見た場合



▲裸眼で見た場合

武蔵 拡大鏡治療は歯科医師だけが行っているわけではなく、歯科衛生士たちも歯石の除去やお口のクリーニングで用います。小さな変化を見逃さない、という意味では定期検診や予防歯科にも利点があります。

拡大した視野でのメリットは大きいそうですね。他にも精密な治療をするために使っているものはありますか？

武蔵 はい。歯科治療用の実体顕微鏡を歯科用マイクロスコープとも言います。脳外科の手術などで使用するように、長いアームが付いた大きな機械で圧倒的な存在感です。

山岡 マイクロスコープは、およそ3〜20倍と見た目のことによってその都度倍率を変えることが可能です。また、治療中に見えているものを写真や動画に記録することもできます。

柏木 例えば、歯科で一番細かいとされる根(神経)の治療では、根の入り口から先端まで、細くて暗くて奥行きのある場所を見る必要があります。そんなときは、拡大の大きさを変えることができ、より明るいライトがあるマイクロスコープが理想ですね。

細かい歯科治療だからこそ、拡大してよく見ることで精度の高い治療が可能になり、患者さんの大切な歯を確実に治療することができるのですね！

※マイクロスコープを用いた治療は自由診療の場合があります。歯科医院でご確認下さい。

- ▶武蔵 哲真 / 医療法人 哲風会理事長 【むさしデンタルオフィス / ☎018-853-8214 秋田市保戸野通町4-8 1F <http://www.musashi-dent.jp/>】
- ▶柏木 了 / 柏木歯科副院長 【ちづ歯科クリニック / ☎018-875-2801 南秋田郡八郎潟町川崎字屋寝233-1 <http://www.chizu-shika.com/>】
- ▶山岡 薫 / CLOVER DENTAL 院長 【柏木歯科 / ☎018-832-9162 秋田市広面土手下41-1 <http://www.kashiwagi-dental.com/>】
- ▶山岡 薫 / CLOVER DENTAL 院長 【CLOVER DENTAL / ☎018-836-0968 秋田市千秋矢留町6-30 トーカンマンション千秋鷹匠橋1F <http://www.cloverdental.com/>】